重点は「遺跡・史跡・文化財・寺社などの見学」

日本修学旅行協会 発行「データブック2015 教育旅行年報」から

中学校　国内修学旅行の実態

日本修学旅行協会（竹内秀一理事長）は毎年、修学旅行の実態とまとめを掲載した「データブック　教育旅行年報」を発行している。2015年度版の同書から、14年度に実施された中学校の修学旅行の内容について抜粋し、紹介する。

旅行先1位は「京都」

■修学旅行で重点を置いた活動

今回の調査結果においても旅行先の第1位は京都府であり、その結果、遺跡・史跡・文化財・寺社などの見学が連続第1位となっている。

上位の項目は、前回調査と大きな順位の変動はないが、「伝統的町並みや建造物群保存地区の見学」は前回2位が今回3位に、「平和学習」は前回3位が今回2位になっている。

特に、「平和学習」は、前回8・7%、186校が今回10・7%、229校となり、2・0ポイント上がった。一方、「伝統的町並みや建造物群保存地区の見学」は前回10・1%、217校が今回9・6%、206校となり、0・5ポイントの減少になった。「職場訪問・職場体験」が前回の8位から5位に上がり、「宗教体験（座禅、法話、写経など）」が前回6位から8位に下がった。

件数は少ないが、「料理・食品加工体験」は前回14位（26校）が今回19位（18校）と順位を下げた。「いなか暮らし体験」は前回18位（19校）が今回15位（30校）に、「農業」は前回21位（13校）が今回18位（22校）順位を上げた。

表1の修学旅行で重点を置いた活動や目的が何であったかを割合に表した「修学旅行で重点を置いた活動（分類別）の件数」としてグラフに示した。そのなかで、史跡・町並み・産業遺産・博物館などの見学などの歴史学習に重点を置くものが43・4%（前回調査46・0%）と毎年1位を占める。ミュージカル・演劇・歌舞伎・文楽・能楽などの鑑賞、伝統文化・伝統芸能や祭り体験、美術館などの見学、コンサート・音楽鑑賞などの芸術鑑賞・体験が11・2%（同10・4%）、平和学習が10・7%（同8・7%）、伝統工芸・料理・食品加工などのもの作りが8・0%（同9・3%）と3位と4位の順位が入れ替わった。また、職場訪問・職場体験、販売・商業体験などのキャリア体験が5・9%（同4・9%）、野外活動・環境学習などの自然・環境学習の分野が4・8%（同4・7%）、スポーツ体験が3・8%（同4・0%）、宗教体験（座禅、法話、写経など）が3・5%（同5・2%）、となり、5位から8位までの順位も入れ替わった。

■旅行先について

カウント方法は、滞在時間に関係なく、例えば滞在が半日であっても、2日であっても、初日と3日目であっても、行った旅行先を「1」としている。

その中で、今回調査で上位については大きな変動は見られない。大きな変動として、震災の影響が薄らいだことや震災学習を目的として、宮城県が前回31位から17位に上がったこと、静岡県が前回23位から18位に上がったこと、鹿児島県が前回24位から18位に上がったことがあげられる。

一方、前回調査で震災の復興に向け頑張っている東北地方の青森県16位、岩手県16位、秋田県18位と3県が20位以内に入ったが、今回調査では、青森県28位、岩手県15位、秋田県22位となった。

■宿泊地・宿泊形態について

第1位から10位までの変動は、5位、6位の長崎、北海道の入れ替わりと前回13位の熊本の今回10位に入ったことがあげられる。前々回21位、前回10位に上がった岩手県は今回も13位と健闘した。また、宮城県19位、秋田県20位と東北での震災からの復興が進み、地元の努力や他県からの復興支援の成果が表れている。

次に構成比率を見てみると、1位の京都府は前回33・4%で今回は31・9%と少し下がり、2位の東京都は前回12・9%で今回は13・1%と上がっている。

今回5位の長崎県は前回5・6%で今回は6・1%と上がり、6位の北海道は前回6・1%で今回は4・8%と下がっている。

前回と今回の構成比率を比較すると、ホテル形態は前回57・7%が今回54・7%で少し下がり、日本旅館形態も前回34・2%が今回33・9%とわずかに下がった。

農山漁村民泊は、前々回まで4・0%と増加してきたが、前回は2・6%に下がったものの、今回は4・7%とこれまでの最高値をあげた。

往路または、復路の移動手段で船舶を活用した学校のほとんどは、船中泊を伴っている。

■見学先について

○○市内などは集計せず、施設名が書かれている見学先のみを集計した。

ベスト3は第1位奈良公園、第2位東京ディズニーリゾート、第3位法隆寺となり、前回と同様であった。前回8位の壕（糸数壕・轟壕・チビチリガマ）が5位に、また前回21位以下であった沖縄平和祈念公園が14位に入った。200件を超えているのは奈良公園、東京ディズニーリゾート、法隆寺、清水寺で、150件を超えているのは壕（糸数壕・轟壕・チビチリガマ）、国会議事堂、金閣寺である。

以上のように全国的に著名な寺社・文化財、娯楽施設などが中心である。

壕（糸数壕・轟壕・チビチリガマ）が順位を上げ、また沖縄平和祈念公園が今回ベスト20に入るなど、平和学習としての沖縄県、長崎県、広島県は定着している。

地域別見学先ベスト3をみると、今回ベスト3からもれた見学先は、北海道では前回第1位の富良野、東北では前回第3位のねぶたの里、中部では前回第2位の白川郷と第3位の上高地、四国では前回第1位の高知城、高松、沖縄では前回第3位のひめゆりの塔・資料館、首里城である。近畿、中国、九州は変わらなかった。

北海道のニセコは一気に増え、東北の小岩井農場、中部の伊豆も増えた。ラフティングなどのスポーツや酪農などの体験学習が増加したと考えられる。

昨年に続き、広島平和記念公園（原爆資料館などを含む）、長崎平和公園（原爆資料館などを含む）、壕（糸数壕・轟壕・チビチリガマ）が各地域の1位であり、平和学習が積極的に進められていることがうかがえる。

表1　回答と構成比

順　位	修学旅行で重点を置いた活動	国立	公立	私立	全体	
		件数	件数	件数	件数	構成比％
1（1）	遺跡・史跡・文化財・寺社などの見学	9	461	80	550	25.8
2（3）	平和学習	8	166	55	229	10.7
3（2）	伝統的町並みや建造物群保存地区の見学	1	174	31	206	9.6
4（4）	伝統工芸などものづくり体験	4	130	19	153	7.1
5（8）	職場訪問・職場体験	6	103	7	116	5.4
6（7）	ミュージカル・演劇などの鑑賞	0	105	7	112	5.2
7（5）	博物館などの見学	2	89	16	107	5.0
8（6）	宗教体験（座禅、法話、写経など）	0	50	25	75	3.5
9（11）	自然や野外活動体験（無人島体験・洞窟体験など含む）	1	59	14	74	3.4
10（9）	産業や産業遺産の見学	1	63	4	68	3.2
11（10）	伝統文化・伝統芸能や祭り体験（香道・舞妓・着付け・三味線・ペーロン・エイサーなど含む）	2	51	13	66	3.1
12（13）	歌舞伎・文楽・能楽などの鑑賞	3	45	6	54	2.5
13（12）	その他のスポーツ（ラフティング、カヌー、フィッシング・熱気球、トレッキング、乗馬など）	0	33	8	41	1.9
14（15）	学校見学（大学、専門学校など）	3	26	5	34	1.6
15（18）	いなか暮らし体験	1	24	5	30	1.4
16（16）	環境学習体験	2	19	7	28	1.3
17（16）	マリンスポーツ（ダイビング・シュノーケリングなども含む）	2	20	3	25	1.2
18（21）	農業	0	18	4	22	1.0
19（14）	料理・食品加工体験	0	14	4	18	0.8
20（19）	国際交流（外国人、留学生との交流）	1	12	4	17	0.8
21（19）	スキー・スノーボード・スケートなど	0	9	6	15	0.7
22（24）	販売・商業体験	0	10	0	10	0.5
23（21）	漁業（釣り・地引網を含む）	0	9	0	9	0.4
24（21）	美術館などの見学	0	6	1	7	0.3
25（27）	酪農	0	3	1	4	0.2
26（27）	林業	0	3	0	3	0.1
27（25）	ボランティア体験	0	0	2	2	0.1
28（26）	コンサート・音楽の鑑賞	0	0	1	1	0.0
28（29）	介護福祉体験	0	1	0	1	0.0
－	その他	4	59	6	69	3.2
合　計		50	1,762	334	2,146	100.0

※（　）内は前回順位
※複数回答（ただし上位三つまで）

グラフ　修学旅行で重点を置いた活動（分類別）の件数

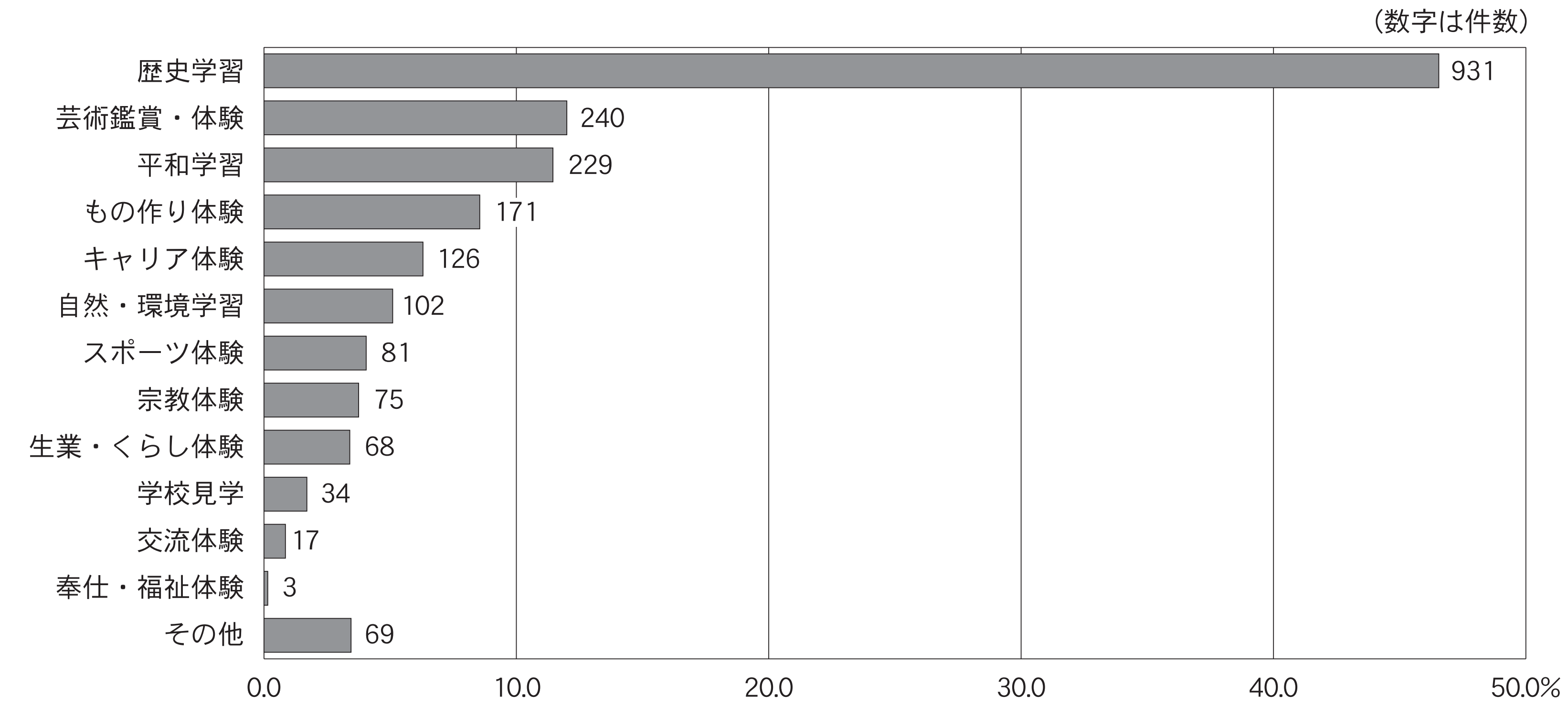

表2　旅行先ベスト20

順　位	旅 行 先	件　数	構成比％
1（1）	京　都	358	19.3
2（2）	奈　良	329	17.7
3（3）	東　京	229	12.3
4（4）	千　葉	196	10.5
5（5）	大　阪	119	6.4
6（6）	沖　縄	89	4.8
7（8）	長　崎	74	4.0
8（9）	福　岡	58	3.1
9（8）	神奈川	56	3.0
10（10）	広　島	53	2.8
11（12）	兵　庫	35	1.9
12（13）	熊　本	34	1.8
13（11）	北海道	32	1.7
14（15）	山　梨	28	1.5
15（16）	岩　手	21	1.1
15（14）	佐　賀	21	1.1
17（31）	宮　城	14	0.8
18（23）	静　岡	12	0.6
18（24）	鹿児島	12	0.6
20（20）	長　野	11	0.6
20（21）	山　口	11	0.6
その他		71	3.8
合　計		1,863	100.0

※（　）内は前回順位
※ 滞在時間に関係なく行った旅行先をカウント「1」とした。
（同じ場所に午前午後滞在した場合は1）

表3　宿泊地ベスト10

順　位	宿 泊 地	宿泊延べ数	構成比％
1（1）	京　都	615	31.9
2（2）	東　京	253	13.1
3（3）	沖　縄	207	10.7
4（4）	千　葉	161	8.4
5（6）	長　崎	118	6.1
6（5）	北海道	93	4.8
7（7）	奈　良	58	3.0
8（8）	大　阪	44	2.3
9（9）	広　島	43	2.2
10（13）	熊　本	34	1.8
その他		302	15.7
宿泊総数		1,928	100.0

※（　）内は前回順位
※ 滞在時間に関係なく行った旅行先をカウント「1」とした。
（同じ場所に午前午後滞在した場合は 1）

表4　宿泊形態（泊数）

宿 泊 形 態	国立	公立	私立	全体	構成比％
ホテル（洋室中心）	35	831	190	1,056	54.7
日本旅館（和室中心）	8	519	127	654	33.9
自治体所有・公共施設	0	16	4	20	1.0
国民宿舎・休暇村	0	4	3	7	0.4
民宿・ペンション	0	61	4	65	3.4
民泊（農山漁村）	4	66	20	90	4.7
車中泊・船中泊	0	21	2	23	1.2
その他（宿坊・研修施設）	0	3	10	13	0.7
合　計	47	1,521	360	1,928	100.0

表5　見学先ベスト20

順　位	見　学　先	件教
1（1）	奈良公園（東大寺・興福寺・春日大社などを含む）	301
2（2）	東京ディズニーリゾート	215
3（3）	法隆寺	206
4（4）	清水寺（清水坂を含む）	200
5（8）	壕（糸数壕・轟壕・チビチリガマ）	158
6（5）	国会議事堂	156
7（6）	金閣寺	151
8（7）	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	113
9（9）	浅草（浅草寺を含む）	109
10（10）	東京スカイツリー	107
11（12）	薬師寺	79
12（13）	北野天満宮	77
13（11）	銀閣寺	71
14（－）	沖縄平和祈念公園	69
15（14）	二条城	68
16（15）	三十三間堂	66
17（17）	上野（公園・動物園など）	64
18（19）	海洋博記念公園（美ら海水族館を含む）	62
18（20）	国際通り	62
20（16）	長崎平和公園（原爆資料館など）	60

※（ ）内は前回順位　総回答件数 5,050

表6　地域別見学先ベスト3

地　域	順　位	見　学　先	件数
北海道	1（－）	ニセコ	15
	2（2）	旭山動物園	8
	3（3）	函館山	6
東　北	1（2）	中尊寺	16
	2（1）	康楽館	6
	3（－）	小岩井農場	5
関　東	1（1）	東京ディズニーリゾート	215
	2（2）	国会議事堂	156
	3（3）	浅草（浅草寺を含む）	109
中　部	1（1）	河口湖	10
	2（－）	伊豆	5
	3（3）	白馬村	4
近　畿	1（1）	奈良公園（東大寺・興福寺などを含む）	301
	2（2）	法隆寺	206
	3（3）	清水寺	200
中　国	1（1）	広島平和記念公園（原爆資料館などを含む）	49
	2（2）	宮島・厳島神社	24
	3（3）	秋芳洞	5
四　国	1（1）	金刀比羅宮	1
	1（－）	屋島	1
	1（－）	栗林公園	1
九　州	1（1）	長崎平和公園（原爆資料館などを含む）	60
	2（2）	大宰府天満宮	41
	3（3）	スペースワールド	13
沖　縄	1（1）	壕（糸数壕・轟壕・チビチリガマ）	158
	2（2）	海洋博公園（美ら海水族館を含む）	62
	2（3）	国際通り	62

※（　）内は前回順位